

- 心のゆとりは笑いから「平和寄席」… 2面
- 7/2(土)から市民プールを全体開場… 4面
- わんぱくセミナー「冒険キャンプボランティア募集」… 6面
- 東山魁夷記念館「通常展」/「記念館コンサート」… 8面

広報しちかわは新聞折り込みでお届けするほか、市内各駅の広報スタンドと公共施設で配布しています。入手困難な方で自宅への配布をご希望の場合は、広報広聴課へお問い合わせください。

夏の電力不安 節電目標達成は一人ひとりの取り組みから

東日本大震災により、私たちはそれまで当然のように利用していた電気の重要性を改めて知らされました。日々の生活はもちろん、日本経済の根幹をも揺るがす問題として、国を挙げての節電活動が展開されています。特に夏期の電力不足が心配されており、私たちの夏の過ごし方が問われています。一人ひとりの更なる節電への取り組みが必要です。政府は今夏の節電目標を、昨年夏に比べ15%減と定め、国民や企業に呼び掛けています。皆様のご協力をお願いします。

節電の基礎知識

使用量が発電量を超えると大規模停電を招く可能性があります。発電量が減少しているため、私たちは、1日を通じた節電を心掛けつつ、特に平日の午前9時～午後8時の節電を行う必要があります。

削減率の合計は15%を目安に

それぞれの生活スタイルに合わせて家庭で取り組む対策を考え、削減率の合計が15%を超えるよう取り組みをお願いします。

節電対策メニュー	節電効果		チェック	
	削減率	削減消費電力		
エアコン	室温28℃を心掛ける ※設定温度を2℃上げた場合	10%	130W	<input type="checkbox"/>
	すだれやよしずなどで窓からの日差しをやわらげる (エアコンの節電になります)	10%	120W	<input type="checkbox"/>
	エアコンを消して、扇風機を利用する ※除湿運転やエアコンの頻繁なオンオフは電力の増加になるので注意しましょう	50%	600W	<input type="checkbox"/>
冷蔵庫	設定温度を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込まないようにする	2%	25W	<input type="checkbox"/>
照明	日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らす	5%	60W	<input type="checkbox"/>
テレビ	省エネモードに設定するとともに画面の輝度を下げ、必要なとき以外は消す ※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合	2%	25W	<input type="checkbox"/>
暖房便座	コンセントからプラグを抜く(使用しない)	1%未満	5W	<input type="checkbox"/>
ジャー炊飯器	早朝に1日分をまとめて炊いて、冷蔵庫に保存	2%	25W	<input type="checkbox"/>
待機電力	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いておく	2%	25W	<input type="checkbox"/>
削減率の合計		%	W	

※削減効果の記載値は、在宅世帯の午後2時の平均的消費電力(約1200W)に対する削減率と削減消費電力の目安です。

消費電力の大きい電気製品は、平日の日中(午前9時～午後8時)を避けて使いましょう。

消費電力の大きい電気製品 暖房便座、電気ポット、食器洗い乾燥機、オーブントースター、掃除機、洗濯乾燥機(乾燥)、ジャー炊飯器、電子レンジ、アイロン、IHクッキングヒーターなど

(資源エネルギー庁ホームページ「家庭の節電対策メニュー」より)

家庭での取り組みを応援します

☎320-3976 環境政策課

市では家庭での節電へ取り組みを推進するため、「消費電力測定器の貸し出し」「節電チャレンジキャンペーン」を行います。

消費電力測定器の貸し出し

電気使用量がすぐわかる、消費電力測定器をお貸しします。節電への取り組みは、まず家庭内で使用している電気機器の消費電力などを知ることから始まります。

消費電力測定器は、電気機器の使用時の消費電力はもちろん、冷蔵庫の開け閉めによる消費電力の差や、テレビなどの待機電力を簡単に調べることができます。また、電気料金の表示も可能です。

貸し出し期間 6月20日(月)から1世帯につき1台を2週間以内

貸し出し台数 30台

申し込み 電話またはFAX376-3177で事前に連絡のうえ、環境政策課窓口へ

節電チャレンジキャンペーン

15%以上 節電した方には毎月抽選でLED電球などエコグッズをプレゼント

エコポイント10

電気使用量を前年同月から15%以上削減した方には、もれなくエコポイント10P進呈、さらに毎月抽選でエコグッズが当たる「しちかわ節電チャレンジキャンペーン」にも参加できます。

実施期間 7月～9月

申し込み方法 15%以上削減した方は、チャレンジシートに必要事項を記入の上、東京電力から毎月の検針時に提出される「電気ご使用量のお知らせ」と合わせて、受付窓口へ持参ください。

※削減率は、「電気ご使用量のお知らせ」で計算できます。

削減率=(前年同月電気使用量-本年電気使用量)/前年同月電気使用量×100

チャレンジシートは市ホームページからダウンロードできます。

窓口でも配布しています。

1か月ごとを区分として、受け付けを行います。

電気使用量月	申し込み期限
7月分の電気使用量	8月末日
8月分の電気使用量	9月末日
9月分の電気使用量	10月末日

申請窓口 環境政策課(南八幡2-18-9分庁舎B棟)、リサイクルプラザ、NPO活動センター本八幡、NPO活動センター行徳、(市)企画・広域行政課



涼しく過ごすひと工夫

緑のカーテンを育てる

ゴーヤなどのつる植物を植えると成長して日陰をつくり、日差しを遮る効果が生れます。また、植物は根から吸った水分を常に蒸発させているので、そこを通る風は涼しく感じられます。



▲行徳支所でゴーヤの苗植えをする保育園児たち

打ち水を

打ち水をすると水が乾くまでの間、気化熱の効果によってたまった熱を逃がしてくれます。特に、熱をためやすいコンクリートやアスファルトでの打ち水は効果的です。

同じ部屋で過ごす

エアコンを複数お持ちの場合は、ひとつの部屋で過ごしていただければ、同時に使用するエアコン・照明を減らすことができ、消費電力の大幅な削減に繋がります。また、ショッピングセンターや図書館などで過ごすようにしたりすることも大きな節電効果となります。

衣服を工夫する

すばやく汗を吸収し蒸発させる素材や通気性のよい素材などを選び、気温に合わせて調節することで、快適に過ごすことができます。また、帽子や日傘を利用すると、日差しを遮ることができ、効果的に体感温度を下げるすることができます。

寝具を工夫する

すばやく汗を吸収し蒸発させる素材や、い草や麻などの素材を選ぶと気温の高い夜でも寝苦しさや和らぎ、より快適に過ごすことができます。

市役所 積極的対策で25%節電を目指す

八幡の本庁舎では、平成22年夏の使用最大電力の25%削減を目指して、積極的に節電に取り組んでいます。また、5月9日から10月31日までクールビズ期間として職員は軽装を奨励していますのでご理解ください。

具体的な取り組み

- 1 空調機の効率的な運転
設定温度は原則28度とし、時間帯により使用する空調機を切り替えて、効率的に運転します。
- 2 照明器具の系統ごとの消灯
執務室の照明については、天候や時間帯、窓の数などを考慮して、JIS照度基準を下回らない範囲で、照明のスイッチを系統ごとに消灯します。
- 3 エレベーターの停止
本庁舎に設置しているエレベーターの部を停止します。
- 4 自動販売機の稼働台数の削減
本庁舎にある自動販売機については、設置場所を考慮して、可能な限り休止します。
- 5 庁内パソコン未使用時の電源オフ
- 6 複合機(コピー機)の使用量の節約
待機電力と使用時の電力量の差が大きいことから、使用量を削減します。
- 7 その他
電気ポットの使用中止、電気湯沸かし器の部使用中止、トイレのジェットタオルの使用中止などを行います。

☎320-3976 環境政策課

大気中の放射線量 ホームページで測定値を公開

市は、簡易式の測定機器を用いて、大気中の放射線量の測定を実施しています。測定結果については、随時ホームページで公開しています。(環境保全課)